

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
------------	-----------------------

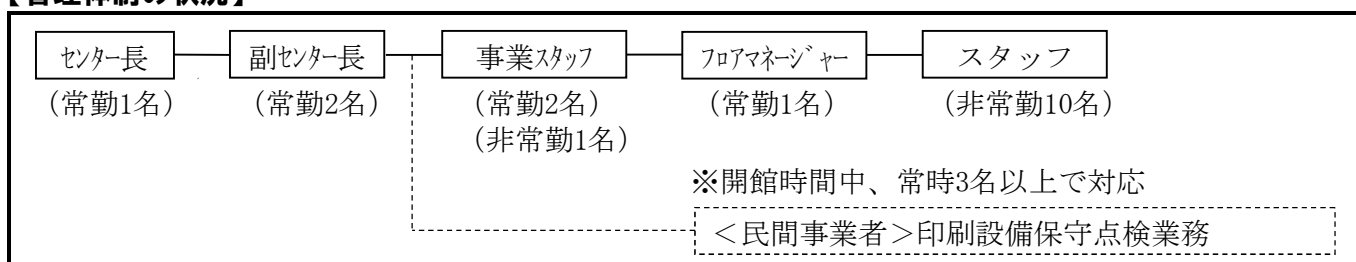
【指定管理者の概要】

名称	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター管理運営共同体	代表者	足羽 憲治
所在地	岡山県岡山市北区南方2丁目13番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの施設及び設備の利用の許可に関する業務 ・施設等の利用料金の設定及び収納に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 ・センター運営に関する業務 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合計
許可 件 数	3年度	2, 1 1 2	9	5 7 0	2, 6 9 1
	2年度	2, 5 6 1	1 0	8 9 5	3, 4 6 6
	増 減	△ 4 4 9	△ 1	△ 3 2 5	△ 7 7 5

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース（相談・情報・交流・作業・保管）：利用人数7,113人 ・研修室、会議室：利用人数18,464人
専門相談事業	会計、経営、労務、法律の専門家による相談 (相談件数：15件)
コーディネーター支援事業	NPOを支援する組織・団体の活動支援に係る情報の提供、スタッフ対象の研修会の開催 [主な内容] NPO支援組織との情報交換会、NPOの支援方法等を学ぶ研修会
人材育成交流事業	ボランティア・NPOのリーダーやスタッフ等を対象にした組織マネジメント等の研修会及び各団体の取組や成果を共有し情報交換を行う交流会等を開催 (参加者：研修会 合計24名、交流会等 合計78名)
活動情報発信事業	ボランティア・NPO活動情報誌「ボランピオ」 年4回ホームページに掲載
自主企画事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア入門講座」及び「NPO法人設立入門講座」の開催 ・ボランティアに興味がある学生向けに、参加募集中の団体をつなぐ「ボランティア・マッチング会」の開催 ・高校生ボランティア・アワード、子どもボランティア体験プログラムの実施等

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合 計
収入額	3,000,160	2,090,800	918,697	6,009,657
利用件数	2,112	9	570	2,691
減免額	0	0	0	0
減免理由				

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備 考
収入額 A		32,443,175	△1,648,326	34,091,501	3年度収入額 その他の主なもの ・預金利息 18円
内	指定管理料	25,955,000	△765,646	26,720,646	
	利用料金収入	6,009,657	△1,361,043	7,370,700	
	事業収入	478,500	478,500	0	
訳	その他	18	△137	155	
支出額 B		32,442,331	△1,648,093	34,090,424	
内	人件費	25,697,166	△257,834	25,955,000	
	管理運営費	3,087,218	△946,805	4,034,023	
	事業費	3,657,947	△443,454	4,101,401	
訳	その他	0	0	0	
収支額 A-B		844	△233	1,077	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		25,955,000	△765,646	26,720,646	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	協定及び事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	感染症対策をはじめ、安全管理マニュアル及び危機管理体制の整備など安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備の破損、紛失はなく、修繕は適切に実施され、適切な管理が履行されていた。
導 入 効 果	①利用状況	B	新型コロナウイルス感染症の影響で69日間が臨時休館となり、年間開館日は約22%減少したが、会議室にオンライン会議対応可能な設備を導入するなど、利便性の向上を図ったことで利用者数の減少は約21%にとどまり、一定の利用者を確保した。 【年間開館日】 R3:228日←R2:292日（約22%減） 【利用者数】 R3:25,577人←R2:32,396人（約21%減）
	②収支状況	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、会議室等の利用者が減少し利用料金収入が減少するなどの状況が生じたが、事業の実施方法の見直し（オンライン化）や管理経費の縮減等、効率的な運営により影響の軽減に努めており、計画された業務は適切に実施されていた。
	③サービス向上	B	利用者アンケート等により利用者の意見や要望を把握するとともに、感染症対策の徹底を行うなど、適切な対応がなされた。
管理運営業務全般		B	協定及び事業計画等に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組が継続的に行われていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。